

子ども読書支援センターは、子どもの読書に関わる大人の方々をサポートする山梨県立図書館の機能です。当センターの事業や活動内容についてご紹介します。



第3回・第4回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました！

「子どもの読書オープンカレッジ」は、山梨大学附属図書館子ども図書室との共催で年5回開催している、子どもの読書について学ぶ初心者向けの講座です。



▲ 杉田真衣氏

第3回は、9月25日（水）に東京都立大学人文社会学部准教授の杉田真衣氏を講師に迎え、「わたしたちの『いろんな性』と絵本」と題する講演会を行いました。図書館職員や学校司書、一般の方、教員、図書館ボランティアなど35名の参加がありました。

今回の講座では、多様な性に関わる基礎知識と、関連の絵本についてご講義いただきました。前半は、LGBTやSOGIなど性に関わる用語の意味や概念を学び、誰もがこうした性の多様さの中にいるのだとわかりました。後半は、多様な性に関わる絵本（34タイトル）について、それぞれの内容や留意点にふれながらご紹介いただきました。まずは大人が絵本を読んで思いをめぐらせ、日頃から子どもが目にする場所に置いてほしいということもお話しいただき、多様な性に関わる絵本のある環境作りについて考える機会となりました。

受講者からは、「いろいろな絵本を紹介していただけて良かった」「本の情報もですが、考え方についてもとても勉強になりました」などの声が寄せられました。

第4回は、12月5日（木）に「子どもたちに伝えたいこと」と題して、南アルプス市在住、児童文学作家の森島いずみ氏を講師に迎え実施しました。一般の方や図書館職員、学校司書、図書館ボランティアなど40名の参加がありました。

講師ご自身のこれまでの経験と、ご著書のエピソードについてご紹介いただきました。豊かな自然環境のもとで過ごした子ども時代に始まり、北京留学など海外経験のお話、闘病や、東日本大震災被災と山梨への移住など、児童文学作家になるまでの、様々な色濃い体験を振り返り、「生きていくうえで大事なことは、物事をはかる物差しを自分の中に持つこと」と話されました。読書は、物事を考える力を育ててくれるもので、公正さの物差しを持つことにつながるというお話が印象的でした。



▲ 森島いずみ氏

受講者からは、「小さい頃のこと、中国の話、身近な話題から、自然の話まで、とてもやわらかく楽しいお話でした」「森島先生の作品世界につながる子ども時代や学生時代のお話をとても興味深く聞かせていただきました」などの感想が寄せられました。

第1回・第2回 子どもの読書ステップアップ講座を開催しました！

「子どもの読書ステップアップ講座」は、「山梨県子ども読書活動推進実施計画（第4次）」に基づき、子どもの読書活動推進に携わる人々に対し、地域や学校の読書活動推進の核となって、専門的助言や指導を行う指導者を養成するため、子どもの読書活動に関する専門理論と実践力を学ぶ実力養成講座です。

本講座は、昨年度まで行われた「子どもの読書指導者養成講座」に引き続き行う講座です。

今年度から子どもの読書活動に携わる様々な立場にある人たちが参加できるよう、受講者の対象を学校の教職員や、認定こども園、幼稚園、保育所など子育て支援施設の職員、書店関係者に広げ実施しました。

第1回 子どもの本の選び方1 ～4歳から小学校2年生（絵本と幼年童話）～



▲伊藤明美氏

第1回は9月18日（水）に千葉大学・日本女子大学・山梨英和大学等非常勤講師の伊藤明美氏を講師にお迎えし、開催しました。

講座の前半は、子どもの読書能力の発達段階と、読み聞かせの効果や、お薦めする絵本をご紹介いただきました。絵本のジャンルの解説では、ストーリー絵本だけでなく知識（科学）絵本も紹介することで、子どもの興味を広げていく手助けができることなどが説明されました。グループワークでは事前課題で受講生が選んだ絵本の読み聞かせを行い、ストーリー絵本と知識（科学）絵本の違いについて考え、発表しました。

講座の後半は幼年童話の特徴や子どもの文学の重要な点、幼年童話の選び方についてお話いただきました。また、幼年童話の読み聞かせの有効性やブックトークのポイントも解説していただきました。グループワークでは1人1冊3分以内でブックトークを行い、紹介図書のおすすめポイントについて講師から解説をいただきました。

第2回 子どもの本の選び方2 ～小学校3年生から6年生（物語）～

第2回は10月9日（水）に第1回に引き続き、伊藤明美氏を講師にお迎えし、開催しました。

講座の前半は、『宝島』の作者、ステューヴンソンの生い立ちや著作についてご紹介いただき、『宝島』の登場人物について解説していただきました。講座の後半は『クローディアの秘密』について、『宝島』と比較した舞台設定や、作者カニグズバークの人と作品についてお話いただきました。

前半、後半のグループワークでは、4～5人のグループごとに、受講生が各作品の特徴や魅力について話し合い、付箋に記入してホワイトボードに貼り出し、講師から解説をいただきました。

受講者アンケートでは、「充実した内容で参加して良かった。」「作品の面白さを物語の構成や文学的な特徴とともに知ることができ、より深く作品を味わうことができて感動した。」などの感想が寄せられました。



▲伊藤明美氏

